地中探査レーダ

ＮＪＪ－６４０

メンテナンス説明書

JRC 日本無線株式會社

＜はじめに＞

このたびは、ＪＲＣ　ＮＪＪ－６４０形地中探査レーダをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

本装置は、主として地中の埋設管の探査に使用する非破壊探査装置です。

● お使いになる前に、添付の取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
万一、ご使用中にわからないことや不具合が生じたときにお役立てください。

目次

＜はじめに＞ i

第１章　保守・点検 1
　１．１　日常保守 1
　１．２　装置の維持管理 2
　１．３　異常・故障への対処方法 4

第２章　廃棄について 5
　２．１　装置の処理方法 5
　２．２　電池の処理方法 5

第３章　お問合せ先 6

第1章 保守・点検

⚠警告

本装置の分解・改造・修理を行わないでください。火災・感電・故障の原因となります。

鉛蓄電池（バッテリー）は、探査時間が短くなってきたら交換してください。交換時期を過ぎて使用した場合、破損による漏液の原因となります。

電源ケーブルが傷んだら(芯線の露出、断線、被覆の破れなど)当社の営業部（6 頁参照）またはお近くの支社・支店・営業所・代理店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

動作が異常と思われるときは使用を中止し、直ちに電源スイッチを切り、当社の営業部（6 頁参照）またはお近くの支社・支店・営業所・代理店にご連絡ください。そのまま使用を続けると、火災・故障の原因となります。

万一、異常音、異臭、発煙などの異常が発生した場合は、直ちに電源スイッチを切り当社の営業部（6 頁参照）またはお近くの支社・支店・営業所・代理店にご連絡ください。そのまま使用を続けると火災・感電・故障の原因となります。

1.1 日常保守

装置外部の汚れを取り除くなどのお手入れ以外は、お客様ご自身による保守は行わないでください。

汚れを取り除くときは、水やぬるま湯を含ませた柔らかい布で汚れを拭きとったあと、からぶきしてください。シンナーやベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので使わないでください。

1.2 装置の維持管理

(1)-取扱上の注意

装置の機能を長期間維持する為には、装置の取扱いを慎重に行ってください。
以下に主な注意事項を示します。

① 装置を運搬する際は、過大な振動・衝撃を与えないようにしてください。
② 段差のある場所での探査は、アンテナ面（本機底面）に衝撃を与えないようにしてください。
③ 雨中での探査は行わないでください。
突然の降雨に遭遇した場合は、電源を切り、装置に付着した水滴を拭き取り、室内で乾かしてください。
④ 装置を持ち上げる際は、二人で行ってください。
⑤ 下り坂での探査は、装置が転がって行かないように、ゆっくりと慎重に行ってください。
⑥ 坂道で装置から手を離す際は、装置が移動しないように、必ず車輪ストッパーや輪止めを使用してください。
⑦ 直射日光下での長時間の使用は避けてください。また、密閉された高温の車内等に置かれた際は、装置を日陰等の涼しい場所で冷却してから使用してください。

(2)-日常点検と定期点検

日常点検（始業点検、終業点検）および定期点検を以下に従い実施することをお勧めします。

①日常点検

- 始業点検(1 回/日)

・ バッテリー充電確認
バッテリーと充電器を接続し、充電器の POWER LED,CHARGE UP LED 両方点灯もしくは CHARGE UP LED のみ点灯を確認してください。

・ 起動確認
コンパクトフラッシュを装着して電源スイッチを投入し、メッセージボックスが表示されない状態で処理モード画面が表示されることを確認してください。
(但し、「現在のメモリカードの残量では、データ保存及び画像保存が出来ない場合があります　メモリカードの交換するか空き容量を確保してください」のメッセージボックスが表示された場合は装置の故障でなく、装着したコンパクトフラッシュの空き容量不足が原因です。十分に空き容量のあるコンパクトフラッシュに変更してください)

・ ブザー確認
手元スイッチの「START」、「MARK」、「STOP」を押した際、ブザーが鳴ることを確認してください。

・ 探査確認
タッチパネルの「処理モード」ボタンを押し、「探査モード」に移行して「測定開始」ボタンを押してください。
装置を移動すると表示画面に探査データが表示されることを確認してください。
また、移動時に異常な音がしないか確認してください。

・ 土質切替機能確認
探査方式を「時間」、探査メモリ「A」、土質「1」で探査を行ってください。(装置を移動しないでください)
探査メモリ「B」、土質「2」で探査を行ってください。(装置を移動しないでください)
探査メモリ「A」と「B」の画像処理を原画に変更して探査データを比較した際、探査メモリ「B」の反射が弱いことを確認してください。

・ 装置設定時間の確認
装置表示部右下の年月日時分が現在時間と異なっていないか確認してください。
異なる場合は「設定」画面に移行して年月日時分を再設定してください。

- 終業点検(1 回/日)
  - 車輪の清掃
    前車輪、後車輪を清掃してください。(泥等が付着していると探査距離の誤差の原因となります)
  - 装置の清掃
    装置に付着した水滴、砂埃等を水やぬるま湯を含ませた柔らかい布で拭きとったあと、からぶきしてください。
  - バッテリーの充電
    使用済みのバッテリーを充電器に接続して充電を行ってください。

②定期点検

- ユーザ定期点検(1 回/週)
  - 装置状態の確認
    装置を二人で持ち上げ、左右に揺らし、異常な音(ネジの転がる音等)が無いことを確認してください。
  - 電源コネクタの確認
    バッテリーを接続する電源コネクタが破損、消耗していないことを確認してください。
  - 探査確認
    距離、深度の明確な埋設管のあるテストフィールドを探査し、差異が生じていないか確認してください。
- メーカ定期点検(1 回/年)
  当社の営業部 (6 頁参照) またはお近くの支社・支店・営業所・代理店に装置の点検をご依頼ください。(但し、メーカ定期点検は有償となります)

1.3 異常・故障への対処方法

- 装置が次の動作をした場合は、故障ではないことも考えられます。
  修理をご依頼される前に、もう一度お調べください。

装置の状態	お調べいただく事項と対処方法
装置の電源が入らない 何も表示されない	・バッテリーが取り付けられていますか？ →**取扱説明書 3.1.2 バッテリーの取り付け／取り外し**をご覧になり、充電済みのバッテリーを取り付けてください ・バッテリーが消耗していませんか？ →**取扱説明書 3.11 バッテリーの充電**をご覧になり、バッテリーの充電を行ってください ・ヒューズが切れていませんか？ →**取扱説明書 3.12 ヒューズの交換**をご覧になり、ヒューズの交換を行ってください。
探査ボタンを押しただけでＢモード表示が進んでしまう	・探査方式が時間になっていませんか？ →**取扱説明書 3.2.2 初期設定**の(7)距離／時間ボタンをご覧になり、 距離に設定してください
日付や時間の設定が“０”になっている	→故障ではありません 内蔵のボタン形リチウム電池の容量が少なくなりましたが、充電可能タイプなので使用時に自動的に充電します **取扱説明書 3.2.6 日付設定**をご覧になり、“日付 時間”を合わせてください

- 日常点検（始業点検、終業点検）および定期点検時に以下の異常が生じた場合は、直ちに電源スイッチを切り、当社の営業部(6 頁参照)またはお近くの支社、営業所、代理店にご連絡ください。

第2章 廃棄について

⚠警告

鉛蓄電池（バッテリー）を廃棄するときは、端子を粘着テープなどで絶縁してください。絶縁しないと端子がショートした際に火災・事故・怪我の原因になります。

2.1 装置の処理方法

本器を廃棄するときは、地方自治体の条例または規則に従って処理してください。
お客様での廃棄が困難な場合や、ご不明な点がありましたら当社営業部にご相談ください。

2.2 電池の処理方法

使用済みの鉛蓄電池はリサイクルします。返却時には、端子を粘着テープなどで絶縁してください。返却方法については、（社）日本電池工業会(TEL: 03-3434-0261)へお問い合わせください。

第3章 お問合せ先

本装置に関する問合せは、最寄りの支社、支店、営業所もしくは下記へお願いいたします。

日本無線株式會社
通信機器営業部 ネットワーク営業グループ
〒160-8328 東京都新宿区西新宿 6 丁目 10 番 1 号
（日土地西新宿ビル　弊社受付：１１階）
TEL 03-3348-3853（直通）
FAX 03-3348-3935（直通）
ホームページ　http://www.jrc.co.jp

JRC 日本無線株式會社

本社事務所　〒160－8328　東京都新宿区西新宿 6 丁目 10 番 1 号　日土地西新宿ビル
電話：03－3348－0151 （総務）
ファックス：03－3348－3648
三鷹製作所　〒181－8510　東京都三鷹市下連雀 5 丁目 1 番 1 号
電話：0422－45－9111（案内）
ファックス：0422－45－9110

DC10-NJJ-640
初版
2007 年 8 月